

児童の説明文産出における推敲方略の発達的变化

神田 真理子

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科

〔問題と目的〕

Hayes& Flowersモデル(1980)を参考として、文章産出過程における推敲方略の、発達的变化の検討を試みる。

文章を書くことの学習途上にある児童にとって、推敲することは困難であると予測されるが、児童の推敲が困難であることの要因は発達的に解明されていない。

本研究では児童が書いた説明的作文(以下、説明文)を推敲する際の、初稿から二稿への文章表現の変更を推敲方略として分類し、検討していく。また、①Hayesらのモデル(1980)から、より多くの下位過程を経ていることが現象的に表れている、②見直し・変更のおこなわれている範囲も広い、を高次の推敲方略と考えている。

〔方法〕

被験児: 都内近郊の公立小1年～6年各1学級の児童(1年生27名,2年生30名,3年生39名,4年生22名,5年生21名,6年生35名。データ総数174。1997年に実施)。

材料: 各学年ともに「学校生活について、来年学校に入学する幼児に説明する(教えてあげる)作文」

手続き: 「課題内容の教示」→「構想メモの作成」→「初稿の産出」→「推敲」(国語科の授業2時間に相当。教示は、すべて各学級の担任教諭に依頼した。推敲の結果は、初稿に青色のペンで各児童に記入させた。)推敲とはどういうことかを、事前に説明し、練習課題をおこなっている。推敲の教示も時間内に集団に対して5分以上の時間を確保して実施した。

〔結果と考察〕

推敲の評価: 推敲方略を、次のような基準で分類した。多様なレベルの推敲(18項目)～形式段落・文の付加・文削除・文移動・文統合・語句意味の付加・語句の意味変更・語句の意味削除・注の添加・文末の変更・句読点・助詞助動詞・表記・漢字・かな→漢字・脱字・接続詞・ルビ
①文章産出の下位過程「評価」→「修正」のプロセスを経ている、②修正は単語のみに留まらないことから
<形式段落の修正・文の付加・文削除・文移動・文統合・語句の意味付加・語句の意味変更・語句の意味削除・文末変更・助詞助動詞の変更>の10項目を高次の推敲方略と考え、それぞれ箇所数と方略数をカウントした。2名の評価者により、サンプル36枚の評価が93%一致。時間内に終了を申告した児童の作文のみ分析に含めた。
分析対象: 推敲箇所が1名平均1箇所未満の学年(2年

0.6, 3年0.9 4年,0.5)を除いて、分析対象は平均1以上の推敲箇所が見られた1年(平均2.6)・5年(5.2)・6年(6.1)の3学年とした。さらに、分析は18項目のうち何種の推敲方略を使用したかを基準としておこなった(1年平均1.7,SD1.1/5年3.7,1.5/6年3.3,2.1)。

方略数の増加: 方略数について分散分析をおこなった結果、学年の効果は有意であった($F(2,80)=11.08, p<.05$)。多重比較によると、1年の方略数の平均が、5年と6年の平均よりも有意に小さかった($Mse=2.83, p<.05$)。しかし、5年と6年の平均の差は有意ではなかった。この結果から、入学後1年未満の小学1年生と高学年の間に、推敲方略が獲得されていくことが示された。

内田(1989)では、文章産出過程で対案を評価したと内観が得られたものを推敲方略として分類し、小学6年の児童1名から14種の方略使用を、小学5年生の集団実験からは6種の方略使用を確認している。文章から検出できない推敲方略の検討すること、および2～4年の間の発達の様相の検討は今後の課題である。

高次の方略使用: 多くの推敲方略を使用することが、高度な推敲をおこなうことと関連するかを確かめるため、1・5・6年の「推敲方略数が多い/少ない(中央値以上・以下)」条件において、「高次の推敲が多い/少ない(中央値上/下)」を集計した(表1)。2×2の直接確率計算法の結果、有意であった($p=.000$, 両側検定)。多くの推敲方略数を使用する児童は、高次の推敲方略を使用する傾向がある。また、方略の数と高次の推敲方略の使用との関連を学年ごとにみると、1年よりも5・6年で高かった。高学年になると文章を書くための技能が安定する(神田,1998)のにもなって、推敲においても、広範囲かつ高度な方略使用が次第に定着すると考えられる。

〔結論〕

推敲をおこなうための方略は、学年の進行につれて獲得され、高学年の児童では比較的多様な修正が可能になる。また、多様な方略を使用する児童は、比較的高次の方略を使用することが示唆された。

表1. 「推敲方略多少」×「高次の方略使用の有無」

多少\多少	高次方略多	高次方略少
方略多群	25	5
方略少群	11	42

(注)方略数多は4以上、高次方略多は3以上(メジアンはそれぞれ3, 2)。